

自治大卒業生の声

自治大学校卒業生（第1部課程第136期）

群馬県 高橋 継貴

編集者注：本稿は、自治大学校における研修の特長などについて、自治大学校の卒業生が記したものです。

1 はじめに

私は、行政に関連する法制度について学ぶ「基本法制研修A」を約1ヶ月、政策形成の手法や公共政策などについて学ぶ「第1部課程」を約3ヶ月の延べ4ヶ月間にわたり、自治大学校で研修を受講しました。研修期間中は全国から集まった他団体の研修生と共に寄宿舍で共同生活をしながら充実した時間を過ごすことができました。

2 基本法制研修Aについて

基本法制研修Aは、「憲法」「行政法」「民法」「地方自治制度」「地方公務員制度」「財政学」の6科目について、約1ヶ月間で集中的に学ぶ研修です。

講義を中心とした研修ですが、小人数でのグループ演習も行います。演習では行政訴訟に関連する判例や児童虐待といった個別の行政課題を題材として、グループの仲間と共に事例の分析や考察を行い、演習の最後には討議結果の発表も行います。

演習では、「自分が当事者の立場だったら」といった視点に立ち「自分の頭で考える」ことを通じて、より主体的・実践的に法制度に関する理解を深めることができます。

なお、演習の際にはソーシャルディスタンスの確保、フェイスシールドの着用など、しっかりとした新型コロナウイルスの感染防止対策が取られています。

法学部出身ではない私は不安を抱きながらの受講開始でしたが、法律に詳しい研修生仲間に助けをもらいながら、つまづくこ

となく学ぶことができました。

研修期間の最後には「効果測定」として筆記試験（一部科目はレポートの提出）が実施されます。この点は第1部課程にはない、本研修のみの特徴です。

演習などと並行しながら試験の対策をするのは大変でしたが、受験生の気持ちに立ち返って集中的な学習を行ったことで、改めて1ヶ月間で学んだ知識の総ざらいと整理をすることができました。そして何より2日間にわたる効果測定が終了した後の開放感と達成感は格別でした。

3 第1部課程について

第1部課程では、約3ヶ月という長い研修期間で、基本法制研修A以上に幅広い内容の講義と充実した演習が経験できます。

講義では、行政職員に不可欠な税制や財政などに関する知識、先進的な公共政策や地方公共団体を取り巻く最新の話題、政策法務やデータ分析の手法といった演習に直結する知識・技能など、本稿では紹介し切れないほど多種多様な内容を学びます。

各分野の第一人者である講師の先生方のお話は、時には刺激的であり、また、時には「目から鱗」の気づきに繋がり、大変興味深く、示唆に富むものでした。

演習についても、政策立案演習を筆頭に、事例演習、条例立案演習、ディベート型演習、データ分析演習、模擬講義演習と盛り沢山の内容となっています。

政策立案演習以外の演習は、取り組むテーマや演習の進め方も様々ですが、演

習を通じて学ぶ、問題発見・解決方法の検討プロセスや、条例立案、データ分析、効果的なプレゼンなどの手法は、全てが政策立案演習に繋がるように構成されています。政策立案演習は、まさに全ての演習と関連講義の集大成と呼ぶに相応しい科目です。

政策立案演習では、5～6人で構成する班で自らテーマを設定して、現状分析と問題の抽出、取り組むべき課題の設定、政策の方向性の決定といった流れで検討を進めていき、最終的に首長に対して提言することを想定して具体的な政策を立案します。

説得力のある政策とするためには、明確な根拠に基づく課題の設定や、達成手段となる政策の妥当性、政策内容の実現可能性などの要素を兼ね備える必要があります。

私たちの班では課題の設定の際に客観的な根拠を収集・整理することなどに苦慮し、研修期間の後半まで、悩みながらの検討になりましたが、自分たちの思い込みではなく、客観的な根拠に基づいて課題を設定することの重要性を、身をもって学べる貴重な機会となりました。

苦労した分だけ班の連帯感も強くなり、演習の最後に開催される発表会を終えた後の達成感や充実感は、基本法制研修Aの効果測定終了時をさらに上回るものでした。3ヶ月間の研修の総まとめとして、全力を注ぐ価値のある演習であると思います。

4. 自治大学校での生活について

自治大学校での研修の大きな魅力の1つである研修生同士の交流については、残念ながら新型コロナウイルスの感染防止の観点から、制限せざるを得ない状況でした。

大人数で外に出ての飲み会などは実施が難しく、例年学校内で行われていた様々な交流イベントなども軒並み中止。そんな中でも寄宿舎の各フロアに設置されている談話室で感染防止に留意しながら食事を共に

したり、休憩中・演習中や課外時間などに仲間たちと会話する時間はとても楽しく、貴重なものでした。

また、敷地内にはテニスコートや広々とした芝生のグラウンド、体育館として使用できる講堂やトレーニングルームもあり、スポーツを楽しむ環境も充実しています。私も仲間たちとバレーボールやバスケットボールを楽しんだり、ランニングで汗を流したり、心身をリフレッシュしながら研修に臨むことができました。

5 おわりに

本稿執筆時点では、研修を修了して群馬県に戻って1ヶ月半ほどが経過し、現在は次年度の当初予算要求に向けて、既存事業を見直して新規事業に組み替える業務を担当しています。

事業に関連する客観的なデータなどができる限り収集し、それらに基づいて最適な新規事業を検討しており、自治大学校での研修を経験したことで、自分自身の仕事の進め方も以前と比べて確実に変化し、成長できていることを実感しています。

長期間の研修に快く送り出していただいた所属の皆様に対しては、研修を通じて学んだことをしっかりと業務の中で発揮すること、同じく家族に対しては、家族と過ごす時間をこれまで以上に大切にすることが、それぞれへの恩返しになると考えて日々を過ごしているところです。

最後になりますが、研修期間中にご講義、ご指導いただいた先生方、研修生活をサポートいただいた自治大学校の職員の皆様、そして苦楽を共にした仲間たちに改めて感謝の気持ちをお伝えして締め括りとさせていただきます。かけがえのない時間をありがとうございました。